



愛知県陶磁美術館

# 『YAYOI モダンデザイン』展

## を読み解く



奈良県/唐古・鍵遺跡出土 水差し形土器  
(田原本町教育委員会所蔵)

### ニッポンの美、ここに始まる

いま縄文時代がブームです。土偶や火焰土器など、何かマジカルで神秘的なところがウケているのでしょうか。いっぽう弥生時代は私たちの生活の基盤となっているコメ作りが始まった時代です。大陸から伝わった弥生時代の遺物はかたちが機能に直結しており、いま見てもとてもモダンな印象を受けます。

この弥生文化のモダンデザインに焦点をあて、2000年後の現代へと受け継がれる文化の源流を見ていきます。



八王子遺跡出土パレススタイル壺



#### ●開催日(全2回)●

①講義:10月20日(火)10:30~12:00

会場=栄中日文化センター(愛知県名古屋市中区栄)

②鑑賞:11月17日(火)10:30~12:00

会場=愛知県陶磁美術館(愛知県瀬戸市南山口町)

※現地集合・解散

#### ●受講料●

2回分 5,000円+税 ※同展チケット代込み



#### ●10/20の講義内容

講師:愛知県埋蔵文化財センター主任専門員 樋上 昇さん

弥生時代の出土遺物は現代の私たちが観てもシンプルでモダンな印象を受けます。これはモノのかたちが機能と結びついているためだと考えられます。今回出品される遺物を観ながら、そのかたちの意味について考えたいと思います。

#### ●講義講師 樋上 昇さん プロフィール●

1964(昭和 39)年、奈良県奈良市生まれ。1987(昭和 62)年、関西大学文学部史学地理学科卒業後、(財)愛知県埋蔵文化財センターに就職。2008(平成 20)年、首都大学東京(現・東京都立大学)にて学位取得。2011(平成 23)年、第2回日本考古学協会賞奨励賞を受賞。現在は(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター 調査課 主任専門員。専門は、弥生時代から古代の出土木製品。主著は、『木製品から考える地域社会—弥生から古墳へ—』(雄山閣 2010年)、『木製品の保存と対応』(同成社 2012年)、『樹木と暮らす古代人—木製品が語る弥生・古墳時代』(吉川弘文館 2016年)



南方(済生会)遺跡出土  
銅剣形木製品

詳細は下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

- ※受講料には維持管理費が含まれています。
- ※一部の講座の受講料には音楽著作権使用料が含まれています。
- ※内容・日程は変更になる場合がございます。ご了承ください。
- ※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。
- ※お申込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

中日文化センターへ  
初めてご入会される方は、  
別途登録料(500円+税)が必要です。



名古屋・栄 中日文化センター

〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル7F  
☎0120-53-8164  
10:00~19:00(日曜日は17:00まで)